安全データシート

高純度再精製アセトン

整理番号：　02-02-1

作成（改訂）：　2025/10/1

１．化学品及び会社情報

製品名	高純度再精製アセトン
会社	株式会社ウレシン
住所	660-0072　兵庫県尼崎市大庄川田町32
FAX 番号	06-6412-3156
Email	uresin@siren.ocn.ne.jp
推奨用途	工業用の溶剤
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への意見を仰ぐこと

２．危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2B
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3 （気道刺激性、麻酔作用）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1 （中枢神経系、呼吸器系、消化管）

絵表示、シンボル

注意喚起語：　危険

危険有害性情報：引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠気やめまいのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害：中枢神経系、呼吸器系、消化管

注意書き：

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
- 熱、高温のもの、火花、裸火および他の 着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地しアースを取ること。
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明器具を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

【保管】

- 換気の良い場所で容器を密閉して保管すること。
- 涼しい場所で保管すること。
- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

3．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　単一物質

化学名	含有量	構造式 （分子量）	化審法官報 公示番号	安衛法官報 公示番号	CAS No.
アセトン	≥99.5%	CH_3COCH_3 （58.08）	(2)-542	公表化学物質	67-64-1

4．応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断/手当てを受けること。汚染した衣服は再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せる場合は取り外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水でよく口の中をすすぐこと。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

5．火災時の措置

消火剤

水スプレー、粉末消火剤、二酸化炭素、泡、砂

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。蒸気は空気と爆発的混合物を形成することがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器が熱に晒されているときは移動しない。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行なう者の保護

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

全ての着火源を取り除く。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入したりしないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合には、汚染された廃水が適切に処理されずに環境に流出しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

排水溝、地下溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

火気厳禁。高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしないこと。

漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させないこと。

使用後は容器を密閉すること。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

静電気放電（有機物の蒸気を引火させうる）を避けるために必要な措置をとる。個人用保護具を着用すること。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。

保管

安全な保管条件:容器は遮光し､換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して施錠して保管する。

安全な容器包装材料：消防法及び国連輸送法規で規制されている容器を使用する。

混触禁止物質：強酸化剤

8．ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近く

に安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生 専門家会議（ACGIH）
アセトン	200 ppm、470 mg/m3	ISHL/ACL: 500 ppm	STEL: 500 ppm TWA: 250 ppm

保護具

呼吸器用保護具：　有機ガス用防毒マスク（JIS T 8152）

手の保護具：　化学防護手袋（JIS T 8116）

眼の保護具：　側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）（JIS T 8147）

皮膚及び身体の保護具：　長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9．物理的及び化学的性質

物理状態	無色澄明液体
臭い	特異臭
融点/凝固点	-95°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	56°C
可燃性	引火性の高い液体及び蒸気
蒸発速度	データなし
燃焼性（固体、ガス）	データなし
爆発限界　上限 下限	13.0vol% 2.15vol%
引火点	-18°C
自然発火点	538°C
分解温度	データなし
pH	データなし
粘度（粘性率）	データなし
動粘性率	0.34 mm2/s（40°C）
溶解度	水、エタノール、ジエチルエーテル：極めて溶けやすい
n-オクタノール/水分配係数	-0.24
蒸気圧	24 kPa（20°C）
密度/相対密度	0.789－0.792 g/mL
相対ガス密度	2.0（air＝1）

１０．安全性及び反応性

安定性

反応性　通常の取扱い条件においては安定である。

化学的安定性　通常の取扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性

通常の取扱い条件においては安定である。

避けるべき条件

高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素（CO）、二酸化炭素（CO2）

１１．有害性情報

急性毒性

	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
アセトン	5800 mg/kg (Rat)	>7400 mg/kg (Rabbit)	32000 ppm 4h (Rat)(Vapor)
分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	NITE の GHS 分類に基づく

	皮膚腐食性／刺激性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	呼吸器感作性又は皮膚感作性
分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく

	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく

	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	誤えん有害性
分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく

１２．環境影響情報

生態毒性

	藻類／水生植物	魚	甲殻類
アセトン	N/A	LC50: Fathead minnow >100 mg/L 96 h	N/A

その他のデータ

	水生環境有害性　短期（急性）	水生環境有害性　長期（慢性）
分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく

残留性・分解性　データなし

生体蓄積性　データなし

土壌中への移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連番号：	1090
国連品名：	Acetone
国連危険有害性クラス：	3
副次危険：	非該当
容器等級：	II
海洋汚染物質：	非該当
陸上規制情報：	ADR/RID の規定に従う
海上規制情報：	IMDGの規定に従う
航空規制情報：	ICAO/IATA の規定に従う

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
移送時にイエローカードの保持が必要。

国内規制

陸上規制情報：	消防法、道路法の規定に従う。
航空規制情報：	航空法の規定に従う。
海上規制情報：	船舶安全法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	127

１５．適用法令

国際インベントリー

EINECS/ELINCS：	収載
TSCA：	収載

国内法規

労働安全衛生法	危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条）

	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
	第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）
	作業環境評価基準（法第65条の2 第1項）
消防法	危険物第四類 第一石油類 危険等級II 水溶性（指定数量　400L）
毒物及び劇物取締法	非該当
大気汚染防止法	揮発性有機化合物（VOC）
危険物船舶運送及び貯蔵規則	引火性液体類（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
海洋汚染防止法	施行令別表第1有害液体物質　Z類物質
PRTR法	非該当
輸出貿易管理令	別表 2 輸出承認品目
麻薬及び向精神薬取締法	麻薬原料

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手した情報等に基づいて作成していますので、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシートは安全保証書ではありません。

本品を取り扱う場合には使用者の責任において実態に応じた適切な処置を講じてください。

以上